

今回は、屋久島スタディツアー事前研修の報告です。

◇ 屋久島スタディツアーについて

年度当初予定していた英国研修は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止のやむなきにいたりました。代わって、「世界自然遺産・屋久島スタディツアー」を企画したところ、1・2年生の生徒16名が参加する運びとなりました。ツアーの概要は以下の通りです。

- (1)事業名： 世界自然遺産・屋久島スタディツアー
- (2)ツアー先： 鹿児島県熊毛郡屋久島町
- (3)指導： 湯本貴和氏（京都大学教授・京都大学霊長類研究所所長 森林生態学）
- (4)連携機関： 屋久島学ソサエティ 京都大学 屋久島町 鹿児島県立屋久島高等学校
- (5)目的：
 - ・屋久島の自然、産業、観光、文化、まちづくりに関し、フィールドワークや学術交流会を通じて学ぶ。
 - ・学術交流会の場でFRH活動の成果を発表し参加者と交流する。
 - ・姉妹県鹿児島県の高校生との交流を通じ、それぞれの地域課題について学びあう。
- (6)行程表：

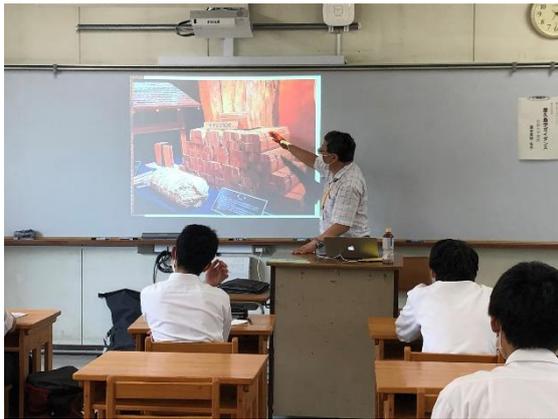
12月10日(木) 移動日(航空機) セントレア～鹿児島～屋久島
11日(金) フォレストウォーク 第1回(自然観察)
A班 西部照葉樹林帯 案内：京都大学教員
B班 安房林道～屋久杉林 案内：現地ツアーリスト(YNAC)
12日(土) 学術交流会 第1日目 ポスタープレゼン 講演会 交流会
13日(日) 学術交流会 第2日目 同上
14日(月) フォレストウォーク 第2回(自然観察)
A班 安房林道～屋久杉林 案内：現地ツアーリスト(YNAC)
B班 西部照葉樹林帯 案内：京都大学教員
15日(火) 島内見学 歴史民俗資料館 横峯遺跡等
16日(水) 移動日(航空機) 屋久島～鹿児島～セントレア

◇ 第1回事前研修 屋久島学入門セミナー (湯本貴和京都大学教授)

第1回事前研修の講師として、森林生態学者の湯本貴和京都大学教授をお招きしました。湯本先生からは、屋久島の自然の魅力、世界自然遺産を生かした地域づくり、大学と地域の協力によってはじまった屋久島学ソサエティの活動についてうかがいました。

「亜熱帯から亜寒帯までの森林」が分布している屋久島には、50種以上の固有分類群を含む1500種以上の植物の自生が確認されているそうです。屋久島はまさに植物の宝庫であり、近年、屋久島には、自然ガイドを目指して屋久島に定住する若者が増え、その結果、人口減が止まり、増加に転じていると聞きました。

長年に渡って屋久島と関わってきた京都大学の先生方は、島のみなさんと協力して、2013年、屋久島に関する最新の研究成果を共有する「屋久島学ソサエティ」を設立したそうです。この研究会には、専門家だけではなく地域の方々や高校生も参加しているとうかがいました。私たちも発表の機会をいただいていますので、これからの研究活動を頑張りたいと思います。



◇ 生徒の感想

■私が一番興味を持ったのは、「屋久島フィールドミュージアム構想」です。建物の中に入って色々な動植物について学ぶのではなく、実際に自然を体感できるということに魅力を感じました。屋久島の固有種などを実際に見るのがとても楽しみだし、屋久島の自然についてもっと知りたいと思いました。また、屋久島学ソサエティ設立大会が開かれ、そこに高校生が参加しているということを知り、私も身近にある課題を解決するために何ができるかを考えていきたいという気持ちが強くなりました。屋久島に行った時、より良い課題研究発表ができるように、研究に取り組んでいきたいと思っています。

■湯本先生の講話を聞いて痺れました。まず、動物は餌付けではなく、人付で人に慣れさせる事は素晴らしいと思いました。餌付けだと、動物を従わせている感じが出るが、人付だと、動物との信頼関係が築けると思いました。屋久島に実際に行く前に屋久島に生息する動物や植物を事前に調べ、実際に行った時、様々な発見をしていきたいです。

■ネットには書かれていなかった屋久島のことをたくさん知れて、さらに屋久島に行ってみたいという思いが強まりました。特に、サルとシカが全く別の生き物なのに食べ物を共有したり、シカの背中にサルが乗ったりしていることにはとても驚きました。是非見てみたいです。屋久島は観光客と住民が協力して課題解決などに取り組み、屋久島を更によりよい観光地へと変えていっているのので、僕も訪れたら積極的に意見交換をして地域づくりに参加し、それをよい体験にしたいです。

■今回の屋久島研修事前講話を聞いて、猿が鹿の背に乗っている行動がすごく面白いなと思いました。また、これらの動物の距離感が植生に関係しているという点も興味深かったです。また、屋久島の壮大な自然の背景には人と自然との歴史があるということを知り、人と屋久島のつながりにも興味を持ちました。屋久島研修への関心がより高まりました。屋久島固有の動植物をを間近で見たいです。

■湯本先生の話で「人付け」の話聞いて、餌付けなしで、猿に近づけるようになるのはとても長い観察があったのだなと思いました。近くで猿や鹿を観察することがとても楽しみになりました。また、猿が鹿の背中に乗っている動画では、猿と鹿がコミュニケーションをとっているのではないかと思いました。とても面白かったです。屋久島研修では動物の観察と山道を歩くことがとても楽しみになりました。

■今回の湯本教授によるセミナーで、屋久島がどういったところで、どんな生物がいるのかがよくわかりました。特に僕が興味を持ったのは、人付けされた猿です。餌付けではなく人付けをする事で、人間に対しての認識が「餌を与えてくれるもの」ではなく「敵ではないもの」となり、餌を求めて人間を襲うことがなくなるし、猿本来の生活を観察できて研究をするにおいてメリットがあるのかなと思いました。

僕は以前から屋久島から見える星空に興味があったので、屋久島が雨の多い島と聞き、少し残念でした。屋久島の星空に焦点を当てた観光があまり盛んでないと聞き、確かに屋久島の星空を観光資源として使うのは難しいけれど、それをどうにかして有効活用する方法はないのかなと思いました。

■わたしは今回の研修に申し込むまで屋久島についての知識がほとんどなかったので、今回湯本先生のお話を聞いて初めて知ることがたくさんありました。

特に私が驚いたのはこの十年間の中で十種類もの新しい植物が屋久島で発見されたということです。「ここだけ」という植物が自分の住んでいる地域にたくさんある屋久島のみなさんが羨ましいと思いました。そして、その固有種を守っていくための活動をより詳しく知りたいと思いました。屋久島では今日教えていただいたことを自分の目で確かめ、新たな発見や知識を深めることに繋がりたいです。

■湯本先生の話をお聞きして、屋久島には純淡水魚がほぼいないという点と、ヤクシカは餌付けではなく「人付け」されているという点に驚き、また少し視野を広げることが出来ました。そして、ヤクシカとヤクザルの関わりも興味深かったです。今回のガイドスを通じて、屋久島スタディツアーの具体的なイメージを持つことができました。

■京都大学の教授から話を聞ける機会は滅多にないので、とても有意義な時間でした。屋久島は火山があると思っていましたが、火山はなく、花崗岩でできているという予想外の話に驚きました。屋久島には約1,500種類もの野生生物が生息しており、そのうちの47種が固有種で、屋久島にしか存在しない生物が数多くいることを知りました。この話を聞いたときに、なぜ固有種が多いのか一瞬疑問を抱きましたが、そのことについても話していただきました。それは気候変動の影響によるもので、寒くなると北の方の植物等が比較的温暖な南の方へ南下したものが多く屋久島に残っているとのことでした。屋久島は環境条件に恵まれているからこそ、多様な種類の生物が生息できるのだと分かりました。屋久島の自然環境は疑問が沢山あると感じました。ヤクニホンザルやヤクシカの生息について、サルがシカの背中の上に難なく乗っている点が特に興味をもちました。奈良公園のシカに餌をあげようとした時にすごい勢いで追いかけられたことがあるので、サルがシカの上に乗っても平然としていることに逆に驚きました。

質問の時間にシカに追いかけられませんか？という質問をしたのですが、餌を何かしら持っていたら野生のシカでも追いかけてくるんじゃないかと私は考えます。このように、屋久島について多くのことを学べたので、屋久島の自然保全と私たちの地域研究をつなげて互いに自然を守るように提案したいと思いました。

■僕は、屋久島に住んでいる人は屋久島の良さをあまり知らないということに驚きました。そこで屋久島学ソサエティとして小学生から学校で地域の良さを教育していると聞いて、僕の地元である郡上の子供達にも教育を通して故郷の魅力を知ってもらえたらいいなと思いました。あと、サルとシカの交流がとても興味深かったのでぜひ現地で見てみたいです。

■今日の屋久島についての講演会は、屋久島のいろんな植物や動物について知ることができたのでとてもいい経験になりました。屋久島では、雨が多いことは知っていましたが、沿岸部と内陸部では降水量が内陸の方が多いと知りびっくりしました。(沿岸部の方が雨が多そうと個人的に思っていたので)。屋久島の人たちのうち150人が屋久島のガイドをしていると聞

いて、屋久島のガイドの方々は、どんな風に屋久島のことについて説明するのかに興味を持ってました。早く屋久島に行ってみたくなるような講演会でした。

■屋久島の話聞いて、屋久島の自然を観察したい気持ちがより一層増しました。ぼくはよく山や川へ遊びに行くくらい自然が好きで、屋久島の珍しい植物や動物を見たいと思いました。また、研究に積極的に取り組みたいと思いました。

■僕は今日の講義で、屋久島の豊かな自然、それを守ろうとする人々について詳しく知ることが出来ました。先生が仰っていたような、地元の人はその良さに気づかないということは日本にも当てはまると思います。僕達は日本に住み続けているため、気が付かない良いところが沢山あると思います。だから一歩引いた視点に立つてみることでそのよさがみえてくるんじゃないかなあと思いました。屋久島では人付けという技術を使って観察しているということを知ったので、ぜひ間近で野生動物観察して見たくなりました。また、今日のお話のおかげで、屋久島へのイメージがとても膨らんだので今日学んだことを忘れずに当日活かせるようにします。

■今日の講話を聞いてこの辺りでは体験することが出来ないようなことが屋久島には沢山あって自然や野生の生き物をすぐそばで感じる事ができる貴重な体験を思う存分楽しんで学校では学ぶことの出来ないような事を沢山学んできたいと思いました！